

令和7年木材統計

**素材需要量は2,265万3千 m^3 で、前年に比べ18万1千 m^3 (0.8%)増加
 素材供給量に占める国産材の割合は88.6%で、前年に比べ0.7ポイント上昇**

【調査結果の概要】

1 素材需給の動向

(1) 素材需要量

令和7年の素材需要量は2,265万3千 m^3 で、前年に比べ18万1千 m^3 (0.8%)増加した。

このうち、素材需要量の約6割を占める製材用は1,443万1千 m^3 で、前年並みとなった。

需要部門別の構成比は、製材用が63.7%、合板等用が19.9%、木材チップ用が16.4%となった。

図1 素材需要量の推移（全国）

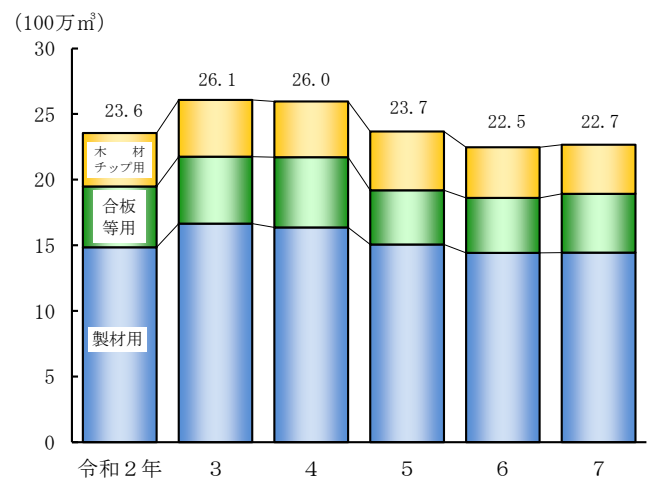


表1 素材需要量（令和7年）

区 分	全 国	対前年比	構成比
	千 m^3	%	%
素 材 需 要 量	22,653	100.8	100.0
製 材 用	14,431	100.0	63.7
合 板 等 用	4,498	107.4	19.9
木 材 チ ッ プ 用	3,724	96.6	16.4

- 素材需要量とは、製材工場、合単板工場及び木材チップ工場への素材の入荷量である。
- 素材供給量については、素材需要量をもって供給量としている。
- 統計表の各都道府県別の素材生産量とは、本調査においては、山元段階の調査が困難なことから、工場入荷量の入荷元の都道府県ごとに集計したのものをもって当該都道府県における素材生産量としている。このため、都道府県の素材需要量と素材生産量は一致しない場合がある。

(2) 素材供給量

素材供給量のうち国産材は2,007万1千 m^3 で、前年に比べ30万8千 m^3 （1.6%）増加し、輸入材は258万2千 m^3 で、同12万7千 m^3 （4.7%）減少した。

素材供給量に占める国産材の割合は88.6%で、前年に比べ0.7ポイント上昇した。

図2 素材供給量及び国産材供給割合の推移（全国）

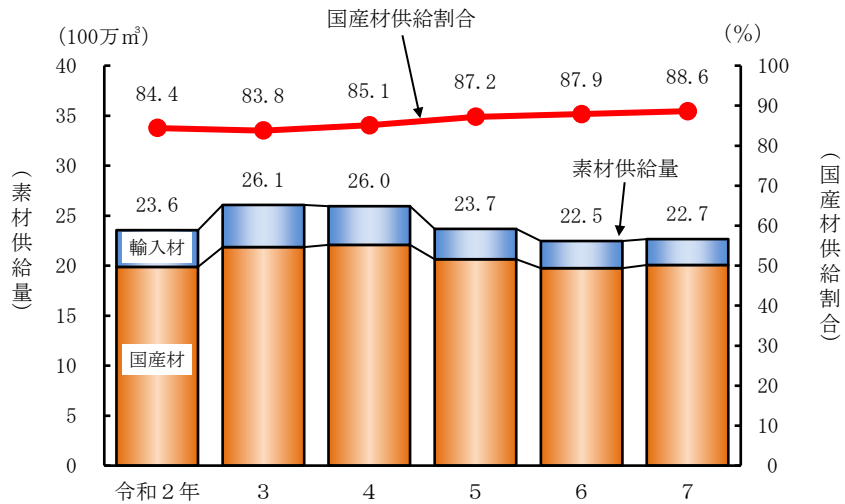


表2 素材供給量（令和7年）

区分	全国	対前年比	構成比
	千 m^3	%	%
素材供給量	22,653	100.8	100.0
国産材	20,071	101.6	88.6
輸入材	2,582	95.3	11.4

2 製材品出荷量

製材品出荷量は775万4千 m^3 で、前年に比べ15万1千 m^3 （2.0%）増加した。

3 普通合板及び特殊合板の生産量

普通合板生産量は256万4千 m^3 で、前年に比べ5万8千 m^3 （2.3%）増加した。
特殊合板生産量は48万5千 m^3 で、前年に比べ2千 m^3 （0.4%）減少した。

4 LVL生産量

LVL生産量は22万1千 m^3 で、前年に比べ1万3千 m^3 （6.3%）増加した。

5 木材チップ生産量

木材チップ生産量は457万4千tで、前年に比べ11万9千t（2.7%）増加した。

6 集成材及びCLT生産量

集成材生産量は169万1千 m^3 で、前年に比べ6万3千 m^3 （3.6%）減少した。
CLT生産量は1万9千 m^3 で、前年に比べ2千 m^3 （9.5%）減少した。

表3 製材品出荷量並びに普通合板、特殊合板、LVL、木材チップ、集成材及びCLT生産量（令和7年）

区 分	単位	全 国	対前年比
			%
製材品出荷量	千 m^3	7,754	102.0
普通合板生産量	千 m^3	2,564	102.3
特殊合板生産量	千 m^3	485	99.6
LVL生産量	千 m^3	221	106.3
木材チップ生産量	千t	4,574	102.7
集成材生産量	千 m^3	1,691	96.4
CLT生産量	千 m^3	19	90.5

◎ 累年データ

1 需要部門別素材需要量及び材種別素材供給量（全国）

単位：千³m

年次	需要部門別素材需要量				材種別素材供給量		
	計	製材用	合板等用	木材チップ用	計	国産材	輸入材
平成28年	(26,029)	16,590	(4,638)	4,801	(26,029)	(20,660)	(5,370)
29	26,466	16,802	5,004	4,660	26,466	21,408	5,059
30	26,545	16,672	5,287	4,586	26,545	21,640	4,905
令和元	26,348	16,637	5,448	4,263	26,348	21,883	4,465
2	23,550	14,851	4,626	4,073	23,550	19,882	3,668
3	26,085	16,650	5,093	4,342	26,085	21,847	4,238
4	25,954	16,363	5,355	4,236	25,954	22,082	3,872
5	23,669	15,061	4,137	4,471	23,669	20,647	3,022
6	22,472	14,428	4,188	3,856	22,472	19,763	2,709
7（概数）	22,653	14,431	4,498	3,724	22,653	20,071	2,582

資料：農林水産省統計部『木材需給報告書』（以下2の統計表まで同じ。）

注：（ ）内の値は、LVL用を含まない。

2 製材品の出荷量、合板（普通・特殊）生産量、木材チップ生産量（全国）

年次	製材			合単板				木材チップ	
	工場数	製材品出荷量	人工乾燥材	工場数	普通合板生産量	針葉樹合板	特殊合板生産量	工場数	木材チップ生産量
	工場	千 ³ m	千 ³ m	工場	千 ³ m	千 ³ m	千 ³ m	工場	千t
平成28年	4,934	9,293	3,421	183	3,063	2,888	642	1,393	5,826
29	4,814	9,457	3,929	181	3,287	3,143	623	1,364	5,954
30	4,582	9,202	3,930	180	3,298	3,150	580	1,303	5,706
令和元	4,382	9,032	4,187	176	3,337	3,212	562	1,250	5,266
2	4,115	8,203	3,825	173	2,999	2,896	551	1,196	4,753
3	3,948	9,091	4,187	158	3,172	3,087	494	1,082	6,070
4	3,804	8,600	4,100	155	3,059	2,919	516	1,110	5,278
5	3,749	7,965	4,005	164	2,532	2,481	519	1,119	5,260
6	3,547	7,603	3,846	154	2,506	2,450	487	1,073	4,455
7（概数）	3,423	7,754	4,045	152	2,564	2,527	485	1,027	4,574

【調査結果】

1 素材需給の動向

(1) 素材需要量（統計表 1 (1)ア～エ 参照）

素材需要量は 2,265 万 3 千 m³ で、前年に比べ 18 万 1 千 m³（0.8%）増加した。

これを需要部門別にみると、製材用は 1,443 万 1 千 m³ で前年並みとなり、合板等用は 449 万 8 千 m³ で、前年に比べ 31 万 m³（7.4%）増加し、木材チップ用は 372 万 4 千 m³ で、同 13 万 2 千 m³（3.4%）減少した。

(2) 素材供給量（統計表 1 (1)ア 参照）

素材供給量のうち国産材は 2,007 万 1 千 m³ で、前年に比べ 30 万 8 千 m³（1.6%）増加し、輸入材は 258 万 2 千 m³ で、同 12 万 7 千 m³（4.7%）減少した。

素材供給量に占める国産材の割合は 88.6% で、前年に比べ 0.7 ポイント上昇した。

表 4 需要部門別、材種別素材供給量（全国）（令和 7 年）

単位：千 m³

供給量 需要部門	計	国産材			輸入材					
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	米材	北洋材	ニュージーランド材	その他
計	22,653	20,071	18,798	1,273	2,582	21	2,137	117	243	64
製材用	14,431	12,082	11,978	104	2,349	20	1,907	117	241	64
合板等用	4,498	4,265	4,233	32	233	1	230	-	2	-
木材チップ用	3,724	3,724	2,587	1,137	0	-	-	-	0	-
対前年比 (%)										
計	100.8	101.6	102.2	93.3	95.3	110.5	97.0	93.6	82.9	91.4
製材用	100.0	101.1	100.9	120.9	95.0	105.3	96.3	93.6	83.1	112.3
合板等用	107.4	107.9	107.7	160.0	98.3	nc	104.1	nc	66.7	-
木材チップ用	96.6	96.6	99.6	90.3	nc	nc	nc	nc	nc	nc
構成比 (%)										
計	100.0	88.6	83.0	5.6	11.4	0.1	9.4	0.5	1.1	0.3
製材用	100.0	83.7	83.0	0.7	16.3	0.1	13.2	0.8	1.7	0.4
合板等用	100.0	94.8	94.1	0.7	5.2	0.0	5.1	-	0.0	-
木材チップ用	100.0	100.0	69.5	30.5	0.0	-	-	-	0.0	-

注：構成比については表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

ア 国産材素材供給量（統計表 1 (3)ア～エ 参照）

国産材素材供給量を針葉樹、広葉樹別にみると、針葉樹は1,879万8千m³で、前年に比べ40万m³（2.2%）増加し、広葉樹は127万3千m³で、同9万2千m³（6.7%）減少した。

針葉樹を樹種別にみると、素材全体の供給量の約6割を占めるすぎは1,218万4千m³で、前年に比べ46万8千m³（4.0%）、ひのきは304万9千m³で、同3万m³（1.0%）、あかまつ・くろまつは46万7千m³で、同8千m³（1.7%）それぞれ増加し、からまつは169万2千m³で、同4万1千m³（2.4%）、えぞまつ・とどまつは113万4千m³で、同10万5千m³（8.5%）それぞれ減少した。

図3 樹種別の国産材素材供給量の推移（全国）

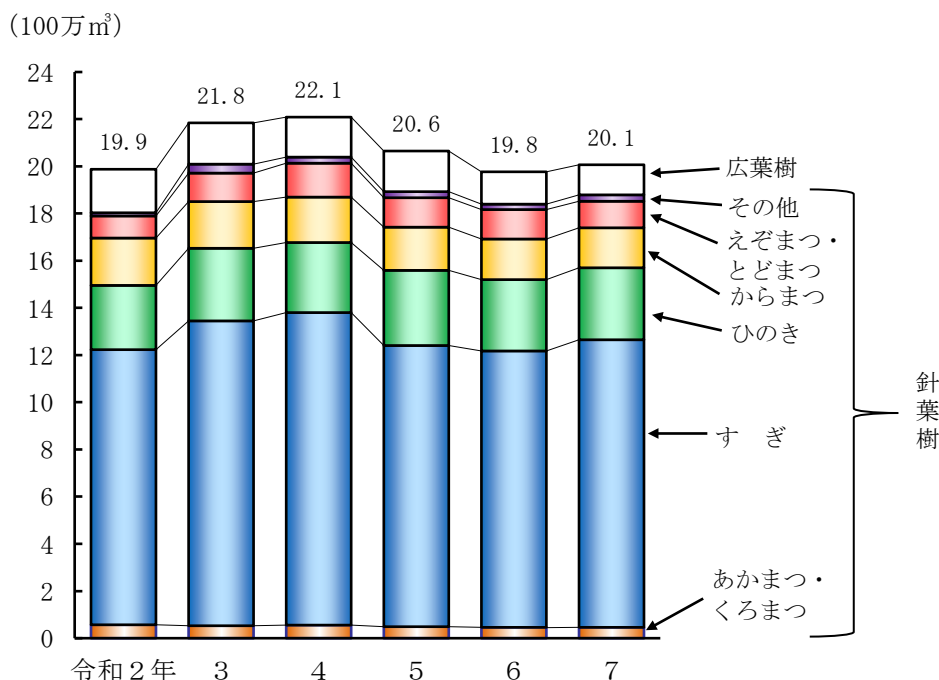


表5 樹種別の国産材素材供給量（全国）（令和7年）

供給量 需要部門	計	針 葉 樹							広葉樹
		小 計	あかまつ・くろまつ	すぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ・とどまつ	その他	
計	20,071	18,798	467	12,184	3,049	1,692	1,134	272	1,273
製 材 用	12,082	11,978	79	8,334	2,192	652	699	22	104
合 板 等 用	4,265	4,233	163	2,431	586	796	227	30	32
木材チップ用	3,724	2,587	225	1,419	271	244	208	220	1,137
対前年比 (%)									
計	101.6	102.2	101.7	104.0	101.0	97.6	91.5	117.2	93.3
製 材 用	101.1	100.9	133.9	103.0	98.7	88.7	96.5	51.2	120.9
合 板 等 用	107.9	107.7	109.4	107.1	106.2	109.9	106.6	130.4	160.0
木材チップ用	96.6	99.6	89.6	104.5	110.2	89.1	68.9	132.5	90.3
構成比 (%)									
計	100.0	93.7	2.3	60.7	15.2	8.4	5.6	1.4	6.3
製 材 用	100.0	99.1	0.7	69.0	18.1	5.4	5.8	0.2	0.9
合 板 等 用	100.0	99.2	3.8	57.0	13.7	18.7	5.3	0.7	0.8
木材チップ用	100.0	69.5	6.0	38.1	7.3	6.6	5.6	5.9	30.5

イ 輸入材素材供給量（統計表 1 (1)ア、2 (5) 参照）

輸入材素材供給量を産地別にみると、輸入材の約 8 割を占める米材は 213 万 7 千³で、前年に比べ 6 万 5 千³（3.0%）、ニュージーランド材は 24 万 3 千³で、同 5 万³（17.1%）、北洋材は 11 万 7 千³で、同 8 千³（6.4%）それぞれ減少した。

また、製材用素材の輸入材のうち半製品入荷量は 15 万 3 千³で、前年に比べ 4 万 9 千³（24.3%）減少した。

図 4 産地別の輸入材素材供給量の推移（全国）

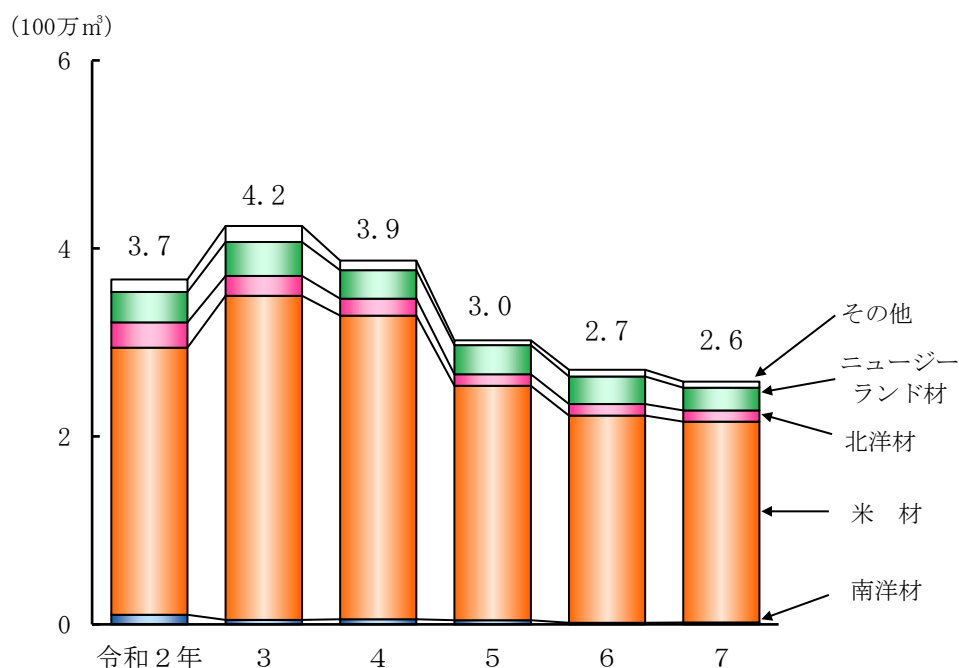


表 6 産地別の輸入材素材供給量（令和 7 年）

区 分	単位：千 ³					
	計	南洋材	米 材	北洋材	ニュージーランド材	その他
全 国	2,582	21	2,137	117	243	64
対前年比 (%)	95.3	110.5	97.0	93.6	82.9	91.4
構成比 (%)	100.0	0.8	82.8	4.5	9.4	2.5

表 7 製材用の輸入材素材のうち半製品入荷量（令和 7 年）

区 分	単位：千 ³					
	計	南洋材	米 材	北洋材	ニュージーランド材	その他
全 国	153	1	38	91	7	16
対前年比 (%)	75.7	100.0	80.9	85.8	77.8	41.0
構成比 (%)	100.0	0.7	24.8	59.5	4.6	10.5

2 製材の動向

(1) 製材工場数、製材用動力の出力数（統計表 2 (1) 参照）

製材工場数は 3,423 工場で、前年に比べ 124 工場（3.5%）減少した。これを製材用動力の出力階層別にみると、300.0 kW 以上の階層は増加し、それ以外の階層は減少した。

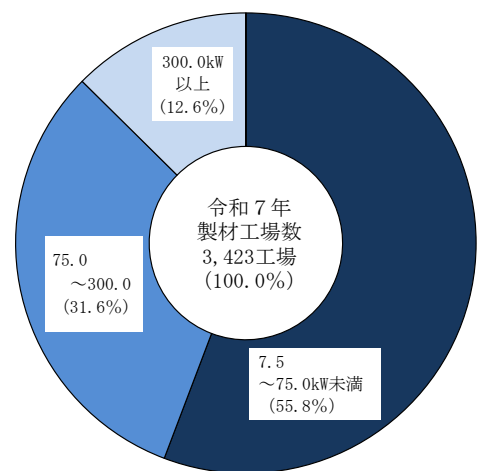
製材用動力の総出力数は 60 万 5,942.5kW で、前年に比べ 491.6kW（0.1%）減少した。

1 工場当たりの出力数は 177.0kW で、前年に比べ 6.0kW（3.5%）増加した。

表 8 製材用動力の出力階層別製材工場数及び出力数
（令和 7 年）

区 分	単位	全 国	対前年比	構成比
工場数計	工場	3,423	96.5	100.0
出力階層別			%	%
7.5 ～ 75.0kW未満	"	1,909	95.9	55.8
75.0 ～ 300.0	"	1,083	95.4	31.6
300.0kW以上	"	431	102.4	12.6
うち1,000.0kW以上	"	97	114.1	2.8
総出力数	kW	605,942.5	99.9	-
1 工場当たり出力数	"	177.0	103.5	-

図 5 製材工場の出力階層別構成割合
（全国）



(2) 製材用素材消費量（統計表 2 (3) 参照）

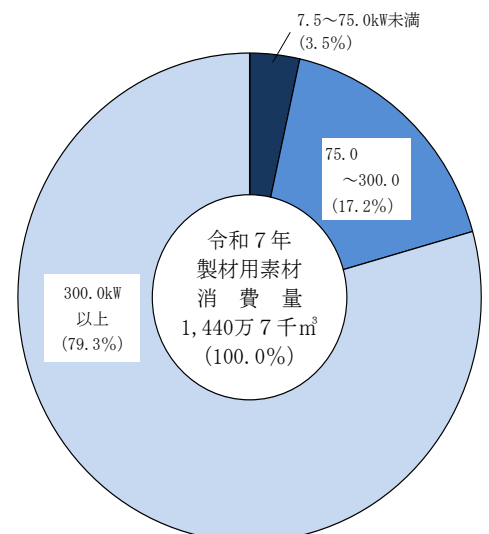
製材用素材消費量は 1,440 万 7 千 m³ で、前年に比べ 30 万 3 千 m³（2.1%）減少した。

1 工場当たりの素材消費量は 4,209 m³ で、前年に比べ 62 m³（1.5%）増加した。

表 9 製材用動力の出力階層別素材消費量（令和 7 年）

区 分	単位	全 国	対前年比	構成比
消費量計	千 m ³	14,407	97.9	100.0
出力階層別			%	%
7.5 ～ 75.0kW未満	"	502	98.6	3.5
75.0 ～ 300.0	"	2,474	94.3	17.2
300.0kW以上	"	11,431	98.7	79.3
うち1,000.0kW以上	"	6,165	109.4	42.8
1 工場当たり消費量	m ³	4,209	101.5	-

図 6 製材用素材消費量の出力階層別構成割合（全国）



(3) 製材品出荷量（統計表 2 (4) 参照）

製材品出荷量は 775 万 4 千 m³ で、前年に比べ 15 万 1 千 m³（2.0%）増加した。

これを用途別にみると、約 8 割を占める建築用材は 632 万 2 千 m³ で、前年に比べ 11 万 8 千 m³（1.9%）、木箱仕組板・こん包用材は 90 万 m³ で、同 2 万 1 千 m³（2.4%）、土木建設用材は 30 万 1 千 m³ で、同 7 千 m³（2.4%）、家具建具用材は 4 万 5 千 m³ で、同 5 千 m³（12.5%）それぞれ増加した。

また、人工乾燥材出荷量は 404 万 5 千 m³ で、前年に比べ 19 万 9 千 m³（5.2%）増加した。

製材品出荷量に占める人工乾燥材出荷量の割合は 52.2% で、前年に比べ 1.6 ポイント上昇した。

図 7 用途別製材品出荷量の推移（全国）

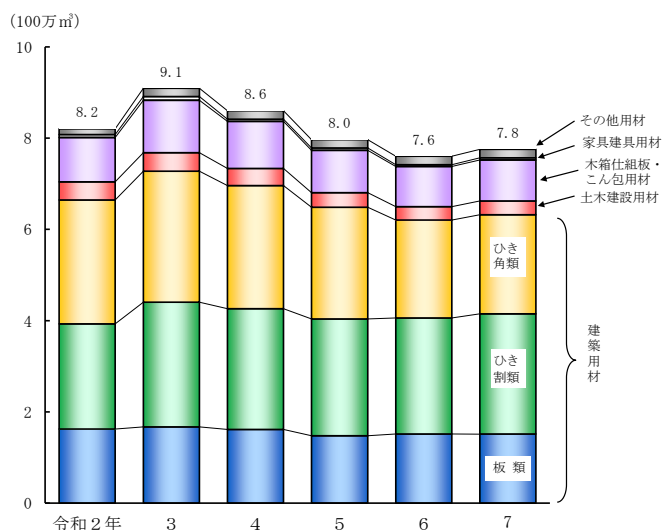


図 8 人工乾燥材出荷量及び製材品出荷量に占める人工乾燥材出荷量の割合の推移（全国）

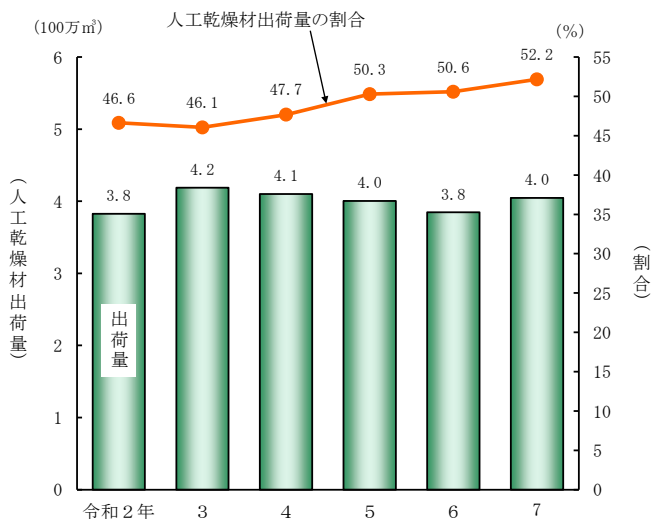


表 10 用途別製材品出荷量（令和 7 年）

区 分	計	単 位：千 m ³								
		建 築 用 材					土木建設用材	木箱仕組板・こん包用材	家具建具用材	その他用材
		人工乾燥材	小 計	板 類	ひき割類	ひき角類				
全 国	7,754	4,045	6,322	1,514	2,635	2,173	301	900	45	186
対前年比 (%)	102.0	105.2	101.9	99.8	103.7	101.2	102.4	102.4	112.5	100.0
構成比 (%)	100.0	52.2	81.5	19.5	34.0	28.0	3.9	11.6	0.6	2.4

3 合単板及びLVLの動向

(1) 合単板工場数（統計表3(1)参照）

合単板工場数は152工場で、前年に比べ2工場（1.3%）減少した。

これを工場類型別にみると、「単板のみ」を生産している工場は前年に比べ3工場（11.1%）、「普通合板のみ」を生産している工場は同1工場（3.2%）「普通合板と特殊合板」を生産している工場は同1工場（33.3%）それぞれ減少し、「特殊合板のみ」を生産している工場は同3工場（3.2%）増加した。

表11 合単板工場数（令和7年）

区 分	計	単板のみ	普通合板のみ	普通合板と特殊合板	特殊合板のみ
全 国	152	24	30	2	96
対前年比 (%)	98.7	88.9	96.8	66.7	103.2
構 成 比 (%)	100.0	15.8	19.7	1.3	63.2

(2) 単板消費量（統計表3(2)参照）

単板消費量は335万8千 m^3 で、前年に比べ13万3千 m^3 （4.1%）増加した。

これを用途別にみると、合板用が312万7千 m^3 で、前年に比べ16万6千 m^3 （5.6%）増加し、LVL用は23万1千 m^3 で、同3万3千 m^3 （12.5%）減少した。

表12 単板消費量（令和7年）

区 分	計	合板用	LVL用
全 国	3,358	3,127	231
対前年比 (%)	104.1	105.6	87.5
構 成 比 (%)	100.0	93.1	6.9

(3) 普通合板及び特殊合板の生産量

ア 普通合板生産量（統計表3(3)ア～ウ参照）

普通合板生産量は256万4千 m^3 で、前年に比べ5万8千 m^3 （2.3%）増加した。

このうち、針葉樹合板生産量は252万7千 m^3 で、前年に比べ7万7千 m^3 （3.1%）増加した。

また、厚さ別にみると、「12～24mm」は115万5千 m^3 で、前年に比べ3万5千 m^3 （3.1%）、「24mm以上」は96万 m^3 で、同1千 m^3 （0.1%）それぞれ増加した。

表13 普通合板生産量（令和7年）

区 分	普通合板 生産量	厚 さ 別				針 葉 樹 合 板	
		6mm未満	6～12	12～24	24mm以上		構 造 用
全 国	2,564	27	422	1,155	960	2,527	2,302
対前年比 (%)	102.3	79.4	107.4	103.1	100.1	103.1	103.1
構 成 比 (%)	100.0	1.1	16.5	45.0	37.4	98.6	89.8

イ 特殊合板生産量（統計表 3 (4) 参照）

特殊合板生産量は 48 万 5 千 m^3 で、前年に比べ 2 千 m^3 （0.4%）減少した。

表 14 特殊合板生産量（令和 7 年）

単位：千 m^3

区 分	特殊合板生産量
全 国	485
対前年比 (%)	99.6

(4) LVL工場数（統計表 3 (5) 参照）

LVL工場数は 10 工場であった。

表 15 LVL工場数（令和 7 年）

単位：工場

区 分	LVL工場
全 国	10

(5) LVL生産量（統計表 3 (5) 参照）

LVL生産量は 22 万 1 千 m^3 で、前年に比べ 1 万 3 千 m^3 （6.3%）増加した。

これを用途別にみると、構造用は 13 万 8 千 m^3 で、前年に比べ 2 万 1 千 m^3 （17.9%）増加した。

表 16 LVL生産量（令和 7 年）

単位：千 m^3

区 分	計	構造用	その他
全 国	221	138	83
対前年比 (%)	106.3	117.9	91.2
構成比 (%)	100.0	62.4	37.6

4 木材チップの動向

(1) 木材チップ工場数（統計表 4 (1) 参照）

木材チップ工場数は1,027 工場で、前年に比べ46 工場（4.3%）減少した。

これを専門・兼営区別にみると、「木材チップ専門工場」は302 工場で、前年に比べ16 工場（5.0%）、「製材又は合単板工場等との兼営工場」は725 工場で、同30 工場（4.0%）それぞれ減少した。

表 17 木材チップ工場数（令和7年）

単位：工場			
区 分	計	木材チップ 専門工場	製材又は合単板 工場等との兼営工場
全 国	1,027	302	725
対前年比 (%)	95.7	95.0	96.0
構 成 比 (%)	100.0	29.4	70.6

(2) 木材チップ生産量（統計表 4 (2) 参照）

木材チップ生産量は457 万4 千 t で、前年に比べ11 万9 千 t（2.7%）増加した。

これを原材料別にみると、素材（原木）は208 万7 千 t で、前年に比べ14 万8 千 t（7.6%）、工場残材は189 万6 千 t で、同10 万2 千 t（5.7%）、林地残材は5 万5 千 t で、同1 万 t（22.2%）それぞれ増加し、解体材・廃材は53 万6 千 t で、同14 万1 千 t（20.8%）減少した。

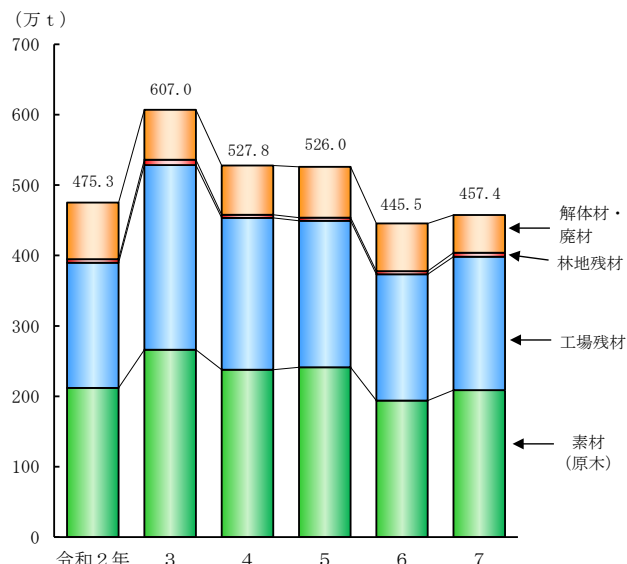
また、針葉樹・広葉樹別にみると、針葉樹は329 万 t で、前年に比べ29 万 t（9.7%）増加し、広葉樹は74 万8 千 t で、同3 万 t（3.9%）減少した。

表 18 木材チップ生産量（全国）（令和7年）

区 分	生産量	対前年比	構成比
	千 t	%	%
木材チップ生産量	4,574	102.7	100.0
原材料別			
素材（原木）	2,087	107.6	45.6
工場残材	1,896	105.7	41.5
林地残材	55	122.2	1.2
解体材・廃材	536	79.2	11.7
針葉樹・広葉樹別			
針 葉 樹	3,290	109.7	-
広 葉 樹	748	96.1	-

注：針葉樹・広葉樹別には解体材・廃材を含んでいない。

図 9 原材料別木材チップ生産量の推移（全国）



5 集成材及びCLTの動向

(1) 集成材及びCLT工場数（統計表5(1)参照）

集成材工場数は137工場で、CLT工場数は10工場であった。

表19 集成材及びCLT工場数（令和7年）

区 分	集成材工場	CLT工場
全 国	137	10

(2) ラミナ消費量（統計表5(2)参照）

ラミナ消費量は201万6千 m^3 で、前年に比べ35万 m^3 （14.8%）減少した。

これを用途別にみると、集成材用が198万6千 m^3 で、前年に比べ34万9千 m^3 （14.9%）、CLT用が3万 m^3 で、同1千 m^3 （3.2%）それぞれ減少した。

表20 ラミナ消費量（令和7年）

区 分	計	集成材用	CLT用
全 国	2,016	1,986	30
対前年比 (%)	85.2	85.1	96.8
構成比 (%)	100.0	98.5	1.5

(3) 集成材生産量（統計表5(3)参照）

集成材生産量は169万1千 m^3 で、前年に比べ6万3千 m^3 （3.6%）減少した。

これを用途別にみると、構造用が154万8千 m^3 で、前年に比べ12万9千 m^3 （7.7%）減少した。

表21 集成材生産量（令和7年）

区 分	計	構造用				その他
		小計	大断面	中断面	小断面	
全 国	1,691	1,548	21	558	969	143
対前年比 (%)	96.4	92.3	84.0	85.8	96.7	185.7
構成比 (%)	100.0	91.5	1.2	33.0	57.3	8.5

(4) CLT生産量（統計表5(4)参照）

CLT生産量は1万9千 m^3 で、前年に比べ2千 m^3 （9.5%）減少した。

これを用途別にみると、構造用が1万5千 m^3 で、前年に比べ4千 m^3 （21.1%）減少した。

表22 CLT生産量（令和7年）

区 分	計	構造用	その他
全 国	19	15	4
対前年比 (%)	90.5	78.9	200.0
構成比 (%)	100.0	78.9	21.1

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040447692&ext=xls>

【調査の概要】

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/gaiyou/>

【調査結果の主な利活用】

森林・林業基本計画における林産物の供給及び利用の目標を設定するための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「森林、林業」の「木材統計調査」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/#y>

- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和9年2月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

林野庁ホームページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/>

お問合せ先

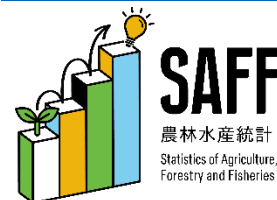
- ◎ 本統計調査結果について
農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 畜産・木材統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3686
（直通）03-3502-5665
- ◎ 農林水産統計全般について
農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries